

新	旧
<p>P 3</p> <p>現在でも、毎年<u>全国</u>で約 12,000 人、東京都で約 1,500 人の方が新たに結核を発病しています。</p>	<p>1 結核は「過去の病気」ではありません。</p> <p>現在でも、毎年<u>全国</u>で約 1 万 5 千人、東京都でも約 2,000 人の方が新たに結核を発病しています。特に最近では高齢者の患者さんの割合が年々高まっていますが、東京都では、20 歳代及び 30 歳代の若い世代の患者さんの割合が他県に比べて高く、若い人にとっても注意が必要です。</p> <p>高齢者だけの病気じゃないよ。</p> <p>3</p>

新	旧
<p>P7</p> <p>5 潜在性結核感染症とは？</p> <p><u>潜在性結核感染症とは、結核菌に感染はしていますが、結核の症状はなく、今後、発病するおそれがある状態です。</u></p> <p><u>結核は、過労や強いストレスを感じる生活が続いたり、糖尿病や他の病気等により、免疫力が低下しているときに発病をしやすくなります。</u></p> <p><u>潜在性結核感染症として、服薬治療をすることで、結核を発病する危険性を減らすことができます。</u></p> <p><u>治療は、イソニアジド（INH）、リファンピシン（RFP）のうち1剤、又は2剤を決められた期間服薬します。</u></p> <p><u>薬を飲み忘れてり、自己判断で中断すると、発病を抑えられなかったり、薬が効かない菌（薬剤耐性菌）を作ってしまいます。最後まで欠かさず薬を飲むことが大切です。</u></p> <p><u>治療中は、周囲に感染させる心配はなく、学校や会社を休む必要はありません。</u></p> <p><u>この治療は、結核医療費公費負担制度の対象となります。</u></p> <p><u>治療中は、保健所が治療継続の支援をします。</u></p>	<div data-bbox="1220 327 1832 427" style="background-color: #ADD8E6; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <h2 style="margin: 0;">5 潜在性結核感染症とは？</h2> </div> <p>結核菌に感染していますが、結核の症状はなく、今後、発病するおそれがある状態です。発病を抑えるために、原則としてイソニアジド（INH）を最低6か月間服用します。</p> <p>この内服についても医療費公費負担の対象になります。</p> <p>服薬中、特別な生活の制限はありません。</p> <p>しかし、結核は過労や強いストレスを感じる生活が続いたり、糖尿病などがあり、免疫力が低下している時に発病しやすくなります。</p> <p>また、発病を抑えるための内服も、不規則になったり中断してしまうと、発病を抑えられなかったり、薬が効かない菌（薬剤耐性菌）を作ってしまう。</p> <p>感染した結核菌が耐性菌である場合は、必要に応じて服薬内容も変更されます。薬は最後まで欠かさずに飲みましょう。</p> <div data-bbox="1456 941 1792 1228" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">7</p>